

幼児期からの取組を生かした 幼小連携の体力づくり

岐阜県多治見市立
市之倉いちのくら小学校

全校児童数329名
(男子169名 女子160名)

実践
内容

実施目的

- ①幼稚園・保育所における体力向上の取組を生かしながら体育の充実を図り、子どもたちの体力づくりに小学校入学時から取り組む。
- ②市の教育委員会、大学研究機関と連携しながら幼児期(3歳)から学童期にかけて毎年、体力テストを実施し、客観的な評価をすることによって児童、教員、保護者の関心を高める。
- ③季節や気候に合った「朝運動」や学校オリジナルの体操を通して活力ある心身の向上を目指す。

実施内容

1 幼児期から取り組んでいる朝運動に継続して取り組む

多治見市の公立幼稚園(平成20年～)と公立保育所(平成22年～)において幼児期からの体力向上と運動遊び習慣づくりが園オリジナルのサーキット遊びを中心に実施されています。その取組を生かすため小学校入学と同時に「朝の活動」として週2~3日、全児童が朝運動に取り組んでいます。この朝運動では、学校オリジナルの市之倉体操や長なわ跳び、短なわ跳び、持久走など季節や気候に合わせて課題を変えています。

特に幼児期に培った多様な動きの動作をより発展させるプログラムを構成することに力を入れています。

2 幼児期から実施している体力テストを継続し、全学年、全児童に実施する

(1) 幼児期から個人の体力評価を実施

多治見市では、平成20年度から全公立幼稚園で、平成23年度から全公立保育所において「新体力テスト」にリンクした幼児体力テストを大学研究機関の協力を得ながら実施し、個人の体力診断を行っています。また、個人評価票を作成し保護者に知らせています。これに

より早い段階から保護者がわが子の体力に関心をもつことができている。その流れを断つことがないように入学した1年生から全児童に新体力テストを実施しています。

(2) テスト結果の分析と活用

全児童の新体力テストの評価を可能な限り活用し、日々の指導や児童への声掛けおよび体育のプログラムに反映させられるように心がけています。また、年間の取組効果の客観的資料として毎年活用しています。

3 体育の授業研究を充実させる

(1) 教師が考え工夫するための授業研究の充実

全教員が体育の授業を充実させるために、毎年積極的に全校研究授業を実施しています。

(2) 児童が考える授業

児童一人一人によって身体を動かすコツや体得の仕方、上手くいかない点は異なるため、児童自身が自分の現状を客観的にとらえ、それを個人ノートに毎回記入しています。教師もそのノートを参考にその後の個別指導に反映できるようにしています。

また、「仲間の動きを見て、考え、自分の動きに生かす」という意識付けに重点をおくことにより、仲間をサポートする意識も芽生えるようになりました。

実施上で工夫したこと

- ①毎週水曜日は掃除時間をなくし、40分間の昼休みを「なかよしタイム」と銘打って、学級遊びを計画し、担任も一緒になって遊ぶようにしています。これにより、担任が児童一人一人の動きの能力を見極められるようになりました。
- ②体力テストの結果については、児童自身に評価票に記録や評価値を記入させ、さらに全国平均との比較をするレーダーチャートを作図させることによって、体力への関心が高くなりました。

主な成果

- ①幼児期から継続的に体力向上のためのサーキット遊びに取り組んできたため、幼小連携を図ることにより効率的な運動習慣づくりが達成でき、低学年から既に朝運動や業間運動に自ら積極的に取り組む姿勢が見られるようになりました。
- ②体育の授業研究に取り組んだため、教員全体の意識変化が見られ、体育授業の充実が図られました。
- ③行政の関心も高まり平成24年度より市全体で「幼・小・中」連携の体力向上に取り組むこととなりました。

●新体力テストの3年間の変化

第2学年		上体 起こし (回)	20m シャトルラン (回)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)
男子	H23	22.5	26.2	130.0	13.0
	H22	14.4	27.7	128.0	13.8
	H21	14.8	12.1	124.0	11.1
女子	H23	25.2	20.2	131.0	9.0
	H22	14.2	25.1	118.0	8.6
	H21	14.0	9.3	119.0	8.1

3年間の取組で特に持久力系と“跳”“投”の運動能力系に好影響が見られました。

幼児期における取り組み（幼稚園・保育所）



多様な動きを身に付ける
室内サーキット遊び



保育士が動きをサポート
（市之倉保育園）



園長・大学研究機関
との連絡協議会



幼児用の体力診断票
保護者に配布



固定遊具を工夫して利用している屋外サーキット遊び
（養正幼稚園）



幼児期から実施し
ている体力テスト



幼児期からの習慣を継続する季節ごとの「朝運動」

学校独自の「市之倉体操」、短なわ跳び、長なわ跳び、持久走などを取り入れて朝から身体活動



市之倉体操



朝の短縄跳び

- 多治見市子どもの体力向上推進委員会
- 【推進委員】
学識経験者（大学研究者）
校長会代表 教頭会代表
教務主任会代表 保育園長代表
小学校体育部会代表 幼稚園長代表
中学校体育部会代表
- 【事務局】
教育長 教育委員会代表
子ども支援課代表 保健センター代表
文化スポーツ課代表 教育研究所代表

教師が考え、児童自身が考え、仲間と考える 体育の授業研究

「児童の欲求を導き、満たす体育の創造」を目指した取り組み



教師が指導法を学び合う体育の
全校研究授業を積極的に実施し、
体育の充実を目指す



自分の現状を個人カードに
記入する



動きを体得し、つかんだコ
ツや課題を記録することによ
り児童自らが考える体育



他人の動きを見て、
仲間と考えながら
積極的に取り組む
体育